



議員でつくる広報誌

# むかわ議会だより



2P～3月定例会  
8P～令和5年度予算審査特別委員会  
12P～ここが聞きたい！6人の議員が一般質問  
19P～委員会報告（総務厚生・経済文教）  
21P～令和4年度活動状況  
22P～出前議会、表彰

No.64

2023.4.30 発行



発行 責任者 むかわ町議会  
☎054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地



編集 議会広報委員会  
☎0145-42-2486 FAX 0145-42-4994



令和5年度予算 町民のためにお金はどう使われる・・・

# 一般会計92億7305万円可決

タウンプロモーション戦略推進、子育て応援基金活用、健康むかわチャレンジ、ゼロカーボン推進、水田農業緊急対策、特産品開発等を新規事業に加え、前年度より11.6%の増。付託された予算特別審査委員会で聞きました。

(単位：万円、%)

会計名		本年度予算額	前年度予算額	増減率(%)
一般会計		927,305	830,622	11.6
特別会計	国民健康保険特別会計			
	保険事業勘定	118,843	117,520	1.1
	直診勘定	45,060	42,990	4.8
	後期高齢者医療特別会計	15,904	15,241	4.3
介護保険特別会計		91,629	91,045	0.6
公営企業会計	上下水道事業会計	65,513	38,915	68.3
	下水道事業会計	70,478	80,810	▲12.8
	病院事業会計	35,694	32,041	11.4
合計		1,370,428	1,249,186	9.7

## 第1回議会定例会

令和5年第1回定例会は、3月9日・10日、3月13日・14日の4日間で開催し、町長並びに教育長の執行方針が示されました。  
6名の議員が一般質問を行い、報告2件、同意1件、令和4年度補正予算と令和5年度予算を含む議案25件、議員から提出された発議1件は、全て原案の通り可決しました。意見書案4件について審議し、全て否決しました。



さっぽろ雪まつりに、むかわ竜出現

### 【報告】

◆専決処分報告に関する件

第1号 旭岡1号橋橋梁補修工事の設計変更が生じ、契約金額を変更したため、7700万円から7888万1千円に改めるものです。

第2号 令和4年9月6

日の強風により、街路樹の枝が折れ車輛に損害を与えたことから、賠償保険により支払いを終えたものです。

○損害賠償の額

244、594円

### 【同意】

◆教育委員の任命

●穂別平丘14番地18

清川 伊代氏 (新任)



## 【議案審議】

### ◆損害賠償額決定に関する件

令和元年11月19日、本町職員が運転する公用車と相手方が運転する自転車による側面衝突事故が発生。相手方は外傷、自転車や所持品にも負傷を負ったものです。

令和5年1月に障害慰謝料等を加算し損害賠償金とすることで示談が成立し、額を決定するものです。

○損害賠償の額  
3、309、321円

### 問 北村 修議員 人身事故

故ということ、日数もかかっているが賠償額との釣り合いがとれていないのでは。

### 答

治療開始から症状固定後、一度示談が不成立となり時間を要しましたが、入院中の雑費・休業補償・慰

謝料等の合計額で示談が成立しました。

### ◆むかわ町個人情報保護法施行条例案

個人情報保護に関する法律の施行に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するものです。

### ◆むかわ町子育て応援基金条例案

### 答

基金造成の第1回目と

子どもや子育て世帯を支援する施策の充実を図る事業に要する経費に充てるために本条例を制定するものです。

### 問 佐藤 守議員 新年度

予算で1億円を計上していますが、総額はどうか考えていますか。

子どもや子育て世帯を支援する施策の充実を図る事業に要する経費に充てるために本条例を制定するものです。

### 問 北村議員 基金の運用

法ですが、0歳から2歳までの保育料無償化の範囲だけなのか、学校給食の無償化までひろがるのか。今後基金への積立が充分にできない場合どうするのか確認します。

### 答

今年度の活用事業としては、町独自に0歳から2歳児の保育料の全額助成を所得制限なく行います。

副食費を除く町内の認定子ども園及び保育所の保育料を実質無償化し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

財源については、スタートした事業を止めることなく、今後の施策も含めて使途に必要な金額を予算の中で積立しています。

### 問 大松紀美子議員 ふるさと納税

さと納税の紹介の中に、子育て事業のために納税をお願いする仕組み作りをする考えはありませんか。

### 答

新年度タウンプロモーション戦略の中に含めて、むかわ町をPRしていく方向です。

### ◆むかわ町防災会議条例の一部を改正する条例案

むかわ町防災会議の委員定数を「30人以内」から「40人以内」に改めるものです。

### ◆むかわ町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例案

◆地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案

地方公務員法の一部を改正する法律に伴い職員の定



なにをして遊ぶ？

年等に関し、関係する条例について所要の改正を行うものです。

令和5年度から令和13年度にかけて、2年に1歳ずつ定年の年齢を引き上げるものです。医師については65歳から70歳に段階的に引き上げます。

むかわ町職員の給与に関する条例では、再任用職員及び再任用短時間勤務職員を、定年前再任用短時間勤務職員に改め、60歳に達した日後の最初の4月1日以後、給料月額を7割水準とする規定を設けるものです。

**問** 小坂利政議員 定年延長を踏まえた上で、優秀な人材を採用する体制作りを

と考えますか。

**答** 公務員は、住民の奉仕者であり、しっかりと義務を果たすという理念を採用時、現職員においても確認し努めていきます。

**問** 北村議員 定年延長となると職員の定数はどうなるのか。現行の任用職員は

どうなるのか。処遇関係はどうなるのか。60歳で7割の賃金になるのか。

**答** 2年に1歳ずつ引き上げになると、退職者も2年毎に出ます。新規採用とのバランスを図りながら定数管理に努めます。

現在100名を超える会計年度任用職員がいますが減らす考えはありません。

処遇関係は、国が一律に示しているもので給与額は決まっています。現在見直しを検討する動きがあるので、情報を入手しながら措置を講じます。

給与の7割水準に関しては、医師を除く全職員が60歳を超えた最初の4月1日から7割になります。

◆むかわ町立学校設置条例の一部を改正する条例案

町立宮戸小学校が本年度を持って閉校し、町立鶴川中央小学校に統合するに伴う所要の改正です。

◆むかわ町国民健康保険条例の一部を改正する条例案

健康保険法施行令の一部改正により出産・育児一時金の支給額を40万8千円から48万8千円にするものです。

◆むかわ町博物館設置条例の一部を改正する条例案

博物館法の一部を改正する法律の施行等に伴う所要

の改正です。

◆むかわ町地域優良賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例案

子育て支援住宅の入居資格要件を見直し、中学校までの扶養家族人数を2人から1人へ改正を行うものです。



**問** 大松議員 現在の空き家状況と改正にすることで見込まれることは。

**答** 3月に入り現在は1件で、入居要件の緩和で子育て環境の向上を見越したところと。

◆むかわ町起業支援等資金貸付条例を廃止する条例案

企業に対する国等の支援や町の起業力耕上推進事業の充実が図られてきていることから当該条例を廃止するものです。



◆令和4年度一般会計補正予算(第13号)

既定の歳入歳出予算からそれぞれ3億3935万円を減額し、101億8857万円とします。

\*主な質疑

**問** 中島 勲議員 復興拠点施設等整備事業での一般財源から特定財源への振替の経緯は。

**答** 歳入17款の寄附金の中の1170万円は、みんなで支え合い明るい未来をつくる事業での活用の申し出があり、歳出において当該事業で活用するための振替です。

**問** 北村議員 復興にぎわい創出事業の大きな減額の要因には、特に鶴川地区のまちなか再生に関わる構成団体間の連携や事業の取組み方に課題があったのでは。

**答** 鶴川地区では、商工会、観光協会、各団体からの推薦者と公募の方々に協議し、空き店舗を活用したチャレンジショップができています。

にぎわい創出の展開を担う箇所となり、今後調整を図りながら、地域商社MDino(エムディノ)の参加も進めていきます。

鶴川地区の拠点づくりは、ぽぽんた市場の参加希望があり、今後公共施設等の指定管理者と協議していく中で住民参加型が生まれてくると考えています。

**問** 大松議員 ひかり認定こども園の広さは基準を満たしていますか。

40年以上経って老朽化していますが改築はありますか。

**答** 広さは基準を満たしています。施設側では建て替えの考

えもあるようですが、具体的には示されていません。

**問** 小坂議員 アイヌ政策推進事業の住宅資金貸付金は毎年のように予算執行が

されています。改善策は。

**答** 平成26年度以降アイヌ生活相談員に新築の相談はありません。住宅改善の一

環として資金手当の枠取りであります。今後、点検検証をしていきます。

**問** 佐藤議員 合併浄化槽補助金減額の要因は。個人負担が増えているからなの

では。

**答** 補助金の活用は令和3年の半分以下の実態です。

もともと合併浄化槽自体が高額なので課題として受け止めています。

**問** 東 千吉議員 担い手確保・経営強化事業で受けた補助金の同額を、全額繰越明許費にする理由は。

**答** 国の補正予算で措置されたものです。農業機械等の整備に対する支援で、補助金申請から事業実施、納期までの時間を考慮し、年度をまたいでの事業執行です。

◆令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第5号)

◆令和4年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◆令和4年度介護保険特別会計補正予算(第4号)



まちづくりを議論する中高生

**問** **大松議員** 認知症総合支援事業で、特定健診等のような認知症検診の仕組みの検討は。

**答** 認知症検査は、軽度の発見から始め、予防につなげることがポイントです。

いろは塾（脳を活性化し楽しく交流しながら認知症の予防を目標に開催）で集団検査があり、他にもコンピューター等個別で出来るツールの活用を考え、調査していきます。

◆令和4年度上水道事業会計補正予算（第4号）

◆令和4年度下水道事業会計補正予算（第2号）

◆令和4年度病院事業会計補正予算（第2号）

**問** **佐藤議員** 病院事業会計の鶴川厚生病院運営協議会の活動実態は。



久しぶりのおしゃべり

**答** 公立病院経営強化プランは、令和5年度に5ヶ年計画策定を予定しており、今後の経営に関して黒字化につなげるような計画とします。

◆令和5年度むかわ町各会計当初予算（議案19号（25号））

むかわ町各会計予算審査特別委員会に付託し、原案のとおり可決されました。

## 【議員発議】

◆むかわ町議会の個人情報保護に関する条例案

提出者 佐藤議員

議会が保有する個人情報適切な取扱いに関し、必要な事項を定め、個人の権利、利益を保護することを目的に新たな条例を制定。

令和5年4月1日施行。

## 【意見書】

不採択となった意見書

◆女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書案

提出者 大松議員

【反対討論】

**栗原健一議員** 選択議定書は日本の法制度と矛盾する部分があり、司法権の独立を侵す可能性があります。

単純に条約を批准すれば解決する問題ではなく、差別を解消するためには慣行や意識改革教育の改善など幅広い取り組みが必要です。

国内の問題に対する解決策を先に検討する必要がありますと考え反対とします。

【賛成討論】

**北村議員** 国会においてこれらの問題が多く議論されておりますが、その最大の理由が家長制度です。

先進国日本とは到底言えない状況を打破するため、賛成します。（賛成議員起立少数で原案は否決）

◆安心して必要な介護を受けられるように制度の改善を求める意見書案

提出者 大松議員

【反対討論】

**東議員** 制度の改善は重要ですが、そのためには多額

の費用が必要であり、増税の負担増の懸念があることや、労働環境の改善がされず制度だけが変わっても介護職員の過重労働が解消されないことも問題で、重要視されるべきと考え反対とします。

【賛成討論】  
**北村議員** 昨年国は、介護士の方々に対する手当を4%引き上げるよう通達を出しましたが、介護士だけに支給すれば差別を広げるだけということ、受け取られないという状況です。介護施設の現場は悲惨ですし、安心して皆さんが介護を受けられる社会にするため賛成します。  
(賛成議員起立少数で原案は否決)

◆新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを「5類」に移行しても、医療機関や感染者への公

的支援が後退しないことを求める意見書案  
提出者 大松議員

【反対討論】  
**奥野恵美子議員** 感染拡大の状況や医療機関の受け入れ体制などに応じて柔軟に対応するとしています。感染状況、科学的知見、専門家の議論なども踏まえつつ公費負担や移行に必要な期間も含め総合的に判断するとしているので反対とします。

【賛成討論】  
**北村議員** 公的支援を後退させないように要望します。今、数は減少していますが、亡くなられる方は減少していません。コロナがなくなるわけではありません。安心して医療にかかれる必要があることから賛成します。  
(賛成議員起立少数で原案

は否決)

は否決)

◆岸田政権が進める「大軍拡増税」に反対する意見書案  
提出者 北村議員

【反対討論】  
**古内みゆき議員** 現在もウクライナ情勢は収束しておりません。

近隣の国からの脅威も警戒すべき問題だと考えます。日本国内の安全を考え、反対とします。

【賛成討論】  
**大松議員** 政府が5年間で43兆円もかけて導入するのは戦争の準備としか思えません。

増税してまで軍拡するよ  
り生活のための支援を求め  
ます。

平和な日本社会を残すた  
めに戦争を準備するのでは  
なく外交で世界から信頼さ  
れる国になることが国民の  
安心につながるのと立場か  
ら賛成とします  
(賛成議員起立少数で原案  
は否決)

## 【閉会中の調査】

### ●総務厚生常任委員会

- ①地域公共交通計画の策定状況
- ②新型コロナウイルス感染症の現状と対策
- ③防災連携協定及び包括連携協定等

### ●経済文教常任委員会

- ①農業における資材高騰等による影響と対策



女性農業者との意見交換



# 予算審査特別委員会

令和5年度むかわ町各会計予算審査特別委員会(大松紀美子委員長)が3月10日、13日、14日の3日間審議し、一般会計、他6会計の審査は、議長を除く12名の委員で行い、すべて認定すべきものと決定しました。

**公務員の兼職に条件  
支障がなければ許可**

**問** 小坂利政委員 現在、公務員による兼職の整理方法は。

**答** 地方公務員法に基づき、営利企業への従事に制限がありますが、条件によって許可されます。  
申請に基づき審査を受けて、業務に支障がない場合は従事する手続きを踏んでいます。

**町全体の借上料は**

**問** 栗原健一委員 町全体の借上料は、どれくらいですか。

**答** 町全体(後日提出)  
・ 鶴川地区 14件  
面積 43、616・02㎡  
借上料 523万6千円  
・ 穂別地区 58件  
面積 172、634・29㎡  
借上料 939万9千円

**町の魅力をPRします**

**問** 奥野恵美子委員 タウンプロモーションのPR動画作成について、他の住民が関わり、意見も取り入れる考えは。

**答** 町の魅力や地域資源などをPRするため、制作には町内の各分野の委員会等や住民の意見も参考にします。

**地方創生の人材循環**

**問** 古内みゆき委員 高大地連携事業の内訳と札幌大学以外の連携拡大の考えは。

**答** 委託する目的として、ファシリテーター育成、ワークショップ、町のイベント企画支援、学生交流支援が目的です。

札幌大学だけでなく他大  
学にも広がる取り組みを令

和6年度以降に展開します。

**恐竜で実証試験続く**

**問** 佐藤守委員 町内外に向けた周遊観光のパッケージした商品開発、実証試験とは。

**答** これまでJTBと協力して調査を実施。  
今後もモニターツアーを行い、地域に滞在するための商品を開発していきます。  
実証試験は、商品そのものが商品になるわけではなく、それを基本として次の施策に展開していく内容です。

## ズバリ 聞きます



# ズバリ 聞きます

## エゾシカの処理問題は

**問** 津川篤委員 エゾシカ捕獲有害駆除補助金30万円の内訳は。

処理場の問題について早急に検討は。

**答** わな猟の免許取得に対する補助です。

補助が一回一人当たり3万円。年間10名を想定しています。

処分の関係は、重要な課題と捉えています。

猟友会と意見等も聞き、今後具体化に向けて調査研究を進めます。

## 新規就農総合対策需要

**問** 北村修委員 町における新規就農の拡大とリタイア農家への支援策が必要では。

**答** 現在、むかわではトマトやレタスの施設園芸が新規就農の主流ですが、高齢化や担い手不足の問題があり、さまざまな営農スタイルを模索しています。

地域おこし協力隊員制度の研修や第三者継承などを活用して、新たな就農モデルの構築に向けた調査研究を進めていく予定です。

## 森林整備事業について

**問** 東千吉委員 町の森林保水力低下が深刻です。林道の整備中心から、森林整備振興にもお金を使うべきでは。

**答** 国の補助金を活用しながら計画に基づき、各森林事業者と事前に確認し、予算を計上しています。

計画通りの予算配分がされない場合でも6月に整備促進事業で追加補正をして、

町の環境条例を活用し、整備計画どおりに進める考えです。

## ししゃもふ化場稼働率の検証を

**問** 東委員 昨年から新設ふ化場が開始され、目標1億尾の親魚を確保できていません。

他から確保し稼働率を上げる考えは。

**答** 10億尾を放流できる施設規模ですが、不漁のために10分1にも満たない親魚の確保状況です。

他から持つてくるかの検討は、その後に漁協関係機関と協議し進める考えです。

## 全面禁漁の判断控える

**問** 小坂委員 40年以上ししゃも漁に携わる方が、行政指導の中で全面禁漁を提

唱しています。危機感を持ち、思い切った措置を取る考えは。

**答** 伝説の魚を幻の魚にすることは絶対できません。国や道の研究機関、大学などと一緒に、生態等の調査研究を共通確認しながら取り組みます。全面禁漁の判断、発言は控えます。



最盛期のレタス

# ズバリ 聞きます

## 地域おこし協力隊

### 派遣事業について

**問** 奥野委員 隊員の人数と実績、企業研修型の内容は。

定住のための取組は。

**答** 昨年度は、起業型で10名採用し、3名が卒業です。発表会もしています。

企業研修型は、派遣企業からの要望に応じて派遣する制度を新たに設けました。今回、町内には残念ながら定住しませんが、関係性というものを構築し、今後も力を入れます。

**問** 津川委員 高額な金額を使い、協力隊としての実態そのものに、計画性がないのでは。

ある程度重きを置き、主導していく考えは。

**答** 隊員それぞれの特性を活かし、いろいろなミッ

ションを考え、移住定住をしつかりと目指しながら、人口増、関係増加も狙っていきます。

### 家賃の上限が必要では

**問** 古内委員 移住定住促進事業について、町が助成をするのであれば、家賃の上限が必要では。



放課後のホッピータイム

**答** 家賃に関しては総体的な住宅の件数が足りておらず、家賃が6万円を超える設定がされているようです。ここを是正するためにも、1Kの住宅を建て、制度をもつて家賃が下がるような市場の原理を働かせる考えです。

民間住宅の家賃を制限することは難しく、相対的に供給できる住宅を増やそうという施策です。相場の家賃を引き下げることにつながればという考えです。

### 学校に電子図書導入は

**問** 栗原委員 学校に電子図書館を導入し、図書館や図書室が便利な場所として役割を果たすことができる可能性はあるが。

**答** 令和6年度から電子教科書を本格的に導入するた

めに準備を進めています。学校の図書館に電子図書を置くことは、考えていません。読書活動推進計画の策定を考えます。

### 町道維持管理の内容は

**問** 三上純一委員 町道維持管理事業の事業費が増額しています。

予算設定の基本的な見解と委託契約内容は。

**答** 舗装や側溝清掃などの実績と必要性を基に決定し、油代などの価格上昇も考慮し設定しています。

異常気象が発生した場合は、災害復旧費を追加し対応しています。委託は、市街地の街路樹及び道路脇の草刈りを一括した形です。



# ズバリ聞きます

**将来に負担を残さない**

**問** 北村委員 財務状況の中で公債費をもう少し減らす考えは。

**答** 公債費の予算額としては範囲内の運用です。将来的には、公債費の額を令和7年度までに抑制し、なるべく将来に負担を残さないよう事業の財源を精査しながら、フレームを作っています。

**穂星寮の滞納繰越金は**

**問** 中島勲委員 穂別高校穂星寮の滞納繰越金20万円とありますが、固定した債権を無くしていく考えは。

**答** 公債権以外の債権については、私債権の管理ということで債権管理条例も定めています。

適正な管理と日々の情報

交換も行いながら、残らない形で最大限努力していきます。

**新型コロナウイルス接種の負担金と補助金**

**問** 中島委員 今年度の保健衛生負担金の数値が少ない理由は。

**答** 予算を積算する段階で、まだ後年度の方向性がはっきりしておらず、4月から6月に執行される額を歳出の予算として挙げています。ワクチン接種事業に係る費用については、10割国の負担金補助金で賄う予算編成です。

**ふるさと納税に期待を**

**問** 佐藤委員 寄附額が例年より2,000万円多いが、その達成額の根拠と方法について。

**答** 今年はPRにも力を入れており、商品開発ということ、新たな返礼品を見つけ、力を入れていきます。現在返礼品の登録が200品目と増え、金額についても見直し、送料と事務費込みで金額を上げる予定のため、今年度は期待を込めて1億円の予算計上をしています。

**町民皆さんの復興感を高めていく**

**問** 三上委員 予算全般について、どのような予算編成ですか。

**答** これまでも事業の展開については、財政調整基金

に頼らなければならないバランス状況です。

中期財政運営指針の健全性を保ち、財源の確保、歳出削減事務事業の点検見直しに取り組み考えです。

この時期を逸する事なく、実現が困難な施策事業を組み立て、工夫充実を町民皆さんの復興感を高めていくことを基本に、新年度予算として提案をさせていただきます。



d ボタンを押してみても

# むかわ町の ここが聞きたい

3月定例会では、6人の議員が16件の一般質問を行い、活発な質疑を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、13ページから18ページです。

## 13ページ 大松 紀美子 議員

- あった○事業終了、住民の理解は
- 無償の生理用品設置を
- 町道1号線の早期開通を

## 14ページ 中島 勲 議員

- 津波対策は
- ふるさと納税の推進は

## 15ページ 栗原 健一 議員

- 公営住宅の老朽化、移動を促す考えは
- バス待合室の問題解決は

## 16ページ 東 千吉 議員

- 一つの町に二つの農業政策が必要か
- 今こそ、産業間の補完関係を

## 17ページ 津川 篤 議員

- 企業誘致について
- 穂別地区の中高一貫教育は

## 18ページ 北村 修 議員

- 町民が気軽に集まり和む場所、コミュニティ施設中心に再生計画を
- 急がれるのはバス路線の見直し
- 加齢性難聴は認知症の要因
- 畜産・酪農の危機対応を
- マイナンバーカードは法的に任意

※紙面の都合上、掲載していない質問項目もあります。



# あった○事業終了 住民の理解は

## 利用者が固定化、新制度に

現在は、利用者の固定化が見られることから、広く住民の健康づくりと、介護予防の意識を持つてもらうために、40歳以上を対象とした「健康チャレンジ事業」として新たな事業の実施を考えています。

「あった○事業」のスタンプの所有は、対象70歳以上の29・7%で748人。事業の利用は18%の453人です。

**問** 利用者が固定化されているとしましたが、453人と、多くの方が利用しています。

新制度が、これまでのサービスよりも、メリットがあると感じられる制度であることが求められます。

住民への丁寧な説明が求められますが。

**答** 自治会長会議やポスター、新聞折り込みチラシ、ラインなどで周知を図ります。



ふるさとのシンボル・・・

### 無償の生理用品 設置を

### 保健室とトイレに 設置します

**問** この質問は、2021年12月議会でも行っています。

学校や公共施設に無償の生理用品を設置する考えは。

**答** 小中学校の保健室とトイレに設置します。

学校以外では、2月から福祉窓口で無償配布をしています。

園1号線の早期開通と、道路幅の拡幅は。

② ししゃも時期など環境に配慮した撤去工事の進行は。

③ 撤去工事の騒音対策は。

④ 景観のシンボルとして親しまれてきた鶴川橋を何らかの形で残す考えは。

**答** ① 町として、スケジュールを示せませんが、

町道開放や安全面など開発局と協議し、国にも強く要望します。

② ③ 現地調査や工事設計の協議の中で、住民生活や魚を含め、環境への影響に配慮した対策の実施を要望・要請を行います。

④ 町民のみなさんの意見を含め、協議する考えです。

### 町道1号線の 早期開通を 強く要望します

**問** 鶴川橋の撤去が決まりました。

① 鶴川橋上り線から町道花

**答** あった○事業は、温泉の効用、外出機会の増加、住民同士の交流などの健康づくり、閉じこもり予防を図る目的に平成23年に開始されました。



おおまつ きみこ  
大松紀美子 議員

OHMATSU KIMIKO

# 津波対策は

## 取り進め中です



なかじま いさお  
中島 勲 議員

NAKAJIMA ISAO

の防波堤機能を持った構築物を設置してほしい旨の要望があります。

配慮すべきと考えますが。

ふるさと納税  
の推進は

サポート

センターで対応

**問** 特産物のPR効果と財務に連動する「ふるさと納税」の運用実態は。

**答** 運用は、寄附者の意向に基づきながら、それぞれの分野の特定目的基金に積み立てをしています。

**問** 本年度の取り組みについてどのような推進体制と数値目標を設定していますか。

**答** 推進体制は町が直接対応する場合と都会の方の苦情処理等は東京のサポートセンターに対応をお願いしています。目標値は前年には達していませんが、件数は上回っています。

ハード事業は国からの補助率が三分の二となっており更に道としても残りの三分の一の支援措置を行う考えを表明しています。策定の用途は課題整理を踏まえ今取り進め中です。

**問** 津波対策については、避難住民への対応優先として①施設入居者②一般独居老人③子女を含む一般人と順位設定し「津波避難対策緊急事業計画」を策定すべきと考えますが。

**答** 最大規模の地震が発生した場合、約四十分後に第一波の津波が押し寄せると想定されています。今の国道の南側の特別養護老人ホーム等々への懸念も踏まえ、先ほどの議員の意見も含めながら近隣の自治会の皆さんの不安事項を情報共有させて頂ければと思います。

**問** 「千島海溝」と「日本海溝」での大地震と大津波が予測されていますが、本町の対策として「津波避難対策緊急事業計画」の策定を掲げています。

いつ頃を目途としていますか。

**答** 「津波避難対策緊急事業計画」は国より津波特別強化対策の指定を受けた市町村がハード事業を整備するもので、本町もこれに該当しています。



役場は海拔6メートル

**答** 災害時に一人では避難することが困難な方々の対策については「避難行動要支援者の個別避難計画」を今作成しているところです。

**問** 執行方針で「災害に強い都市構造を目指す」と掲げています。

これに関連して駒場、文京大成、美幸の各自治会住民から、胆振東部消防組合旧鶴川支署の解体後、津波の害を最小限に抑えるため

また、このような状況を想定しご指摘のあった市街地にも垂直避難場所を設ける等被害規模をもっと精査して必要に応じて施策化して参ります。



# 公営住宅の老朽化、移動を促す考えは。

## 移転補償費22万円。政策空き家で活用、解体も。



くりはら けんいち  
栗原 健一 議員

KURIHARA KENICHI

**問** 公営住宅の、老朽化について倒壊の可能性、新たな公営住宅への移動見込件数の状況は。

**答** 当計画は、適正な管理戸数を設定した上、実施策定しています。直ちに倒壊が起こる可能性は、現在ありません。

用途廃止区分の住宅は現在募集を停止し、政策空き家として管理、年次計画で解体をします。

・用途廃止予定戸数

184戸計画

現在39戸入居中

・移転を希望される方

移転補償費

トラック借上料

22万円、昨年1件。

**問** 津波災害などの危険想定をおそれ、穂別地区への移動を促す考えは。

**答** これまで政策としては行っていませんが、平成30年の胆振東部地震において、穂別地区では公営住宅の空き住宅を活用し、みなし仮設住宅としてきたところで

す。今後大規模災害における仮設住宅として、空き住宅の活用は見込んでいます。



改善が望まれる待合室

### バス待合室の問題解決は まちなか再生と連携 提言書も含め努める

**問** ①冬における穂別地区、中央停留所（ホッピー公園）の待合所使用について、使用できず寒さに凍える町民がいるようですが対応は。

②停留所付近の雪が視界を妨げ、安全確保の配慮を求めますが。

**答** ①道南バス会社の所有建物であり、同社が近くの住民の方に管理を委託。毎日朝8時から夕方5時まで利用できます。

②穂別中央バス停、森林事務所前及び、栄豊田入口のバス停は、除排雪をむかわ町シルバー人材センターに委託しています。大雪などの時は、運行事業者と協力して除排雪を実施しています。

**問** 冬の寒い状況を想像して下さい。暖房機能がない中で、待つ高齢者の配慮は考えないのですか。

**答** 問題について、現在は相談案件として上がっていませんが、発生しないように点検検証し、町民に不安のない環境づくりに努めていきます。

また、まちなか再生や地域協議会からの提言書に盛り込まれた、コミュニケーションの待合機能を踏まえた、持続可能な地域公共交通ネットワーク形成にも努めていきます。

# 一つの町に二つの農業政策が必要か

## それぞれの特徴が生かされる行政支援

**問** 新地域農業活性化推進事業で、鶴川地区2000万円、穂別地区1000万円。それぞれの農協が同じ額の基金を積むことになっており、JA鶴川についてはクリアできる内容であるが、広域農協はその性格上クリアすることが難しい。地域の農業者が平等に万遍なく支援を受けられるよ

**答** それぞれのJA管轄区域があり、その振興方策を大切にしながら、特徴が生かされるよう行政支援を図っていききたい。

**問** 組織団体による生産振興の違いがあります。それぞれの地区にそれぞれの生産部会がありますが、合流あるいは、切磋琢磨する研

う制度の改正をしていかなければならないのでは。

農地の確保維持、米の生産、牛の飼育、畑の各作物生産指標等、全て行政単位であるにもかかわらず、二つの組織体の数字を合わせて、本町の農業振興の数値であること、このままずっと続けていくのですか。



あずま ちよし 議員  
東 千吉 議員

AZUMA CHIYOSHI

鑽の場が全くないのでは。

**答** 条例により、農業振興対策協議会を設置しており、議論する場も年数回開いています。総体的に農業振興に取り組んでいます。



みずみずしい

### 今こそ産業間の補完関係を

#### 地域内循環は大切

**問** 胆振海区にもニシンが回遊してきたが、1キロ1円の単価しかありませんでした。1トン取っても千円しかならないので、漁師は漁に出ないのです。

**問** 操業回数を増やして漁師経済に好影響を与えていくために、産業間の補完関係、水揚げされる魚をチツソ質の肥料の一部として農業利用する検討は。

漁獲高と操業日数と操業回数が極端に減る。出漁で少ない単価の改善のための行政の検討が必要では。

**答** 地元で取れた資源を産業界間で有効に活用してゆく地域内循環は大切と考えています

**答** 魚価が最低でキロ単位1円という情報も聞いています。直売の支援、インターネットの販売支援、ホッキの単価が下がった時の単価支援も行っています。

ただ一方で、需要、ニーズの部分、法の規制の部分等、把握しながら検討を重ねていく必要があります。

# 企業誘致について

## 点検・検証していきます

**問** 恐竜ワールド関係を進める中で、企業が撤退することによる影響は。

**答** 世界的な情勢も含め、原料輸入等に困難があったとのことですが、企業としての実績成果はあったと考えます。

**問** 企業誘致に結び付けるためには何をすべきと考えますか。

**答** 町内に住宅を建てたいと考える方もいると聞いていますので、来年度予算計上している対策で家賃の高止まりの状況を改善させる対策を立てています。

現在新築のアパートも16戸あります。

企業撤退は住宅が足りないからではなく、この地で営業をされていくかどうか企業の問題と 생각합니다。その他 企業誘致条例の優遇措置の内容も点検検証していきます。

### 穂別地区の 中高一貫教育は 調査研究をします

**問** 鶴川地区が中高一貫教育を実施していますが、穂別地区は今後どのような形になっていく予定ですか。

**答** 鶴川地区では町中の清掃やボランティア活動などを行っています。

穂別地区でも化石学習会やボランティア清掃などふるさとキャリア教育推進事業を実施し、北海道教育委員会と相談し助言を受けながら調査研究を進めていきます。

**問** 企業誘致について今日までの取り組みは。

**答** 平成20年に条例化して以来、企業進出につながっており、本年3月1日オープンのワークマンハウス進出にもつながっています。

**問** 今回撤退する企業は住宅問題が確保出来なかったと考えますが、町との間に溝があるのでは。

**答** まちづくり計画の中で企業誘致だけでなく、本町の特徴、地域資源を活用した新規企業による取り組み支援も必要と考えます。

**問** 住宅問題を町がクリアできなかったことが問題では。

**答** 住宅の確保はその企業さんが確保するものであり、住宅供給を増やしていくために、助成を行っていくところです。



走るむかわ竜



あつし 篤 議員

つがわ 津川

TSUGAWA ATSUSHI



## 町民が気軽に集まり和む場所、 コミュニティ施設中心に再生計画を

復興に向けての賑わい、  
生業の創出に必要と考えている



きたむら おさむ  
北村 修 議員  
KITAMURA OSAMU

みは、今後の鶴川地区の復興拠点施設等の整備に活かしていきます。

### 急がれるのはバス路線の見直し

穂別地区からの提言もある、地域の実情を捉えて

**問** 「まちなか再生」計画は、穂別地区での事業計画Iに次いで鶴川地区とするが、計画と住民参加のあり方は。

**答** コミュニティ施設をつくり、新たな事業展開のシステムづくりは。

**答** 今年度、穂別での実施計画、鶴川地区の基本計画を策定します。住民の参加は、あり方を整理します。穂別地区は、成果品ができる中で、新たな住民協議を図ります。

起業チャレンジの取り組み

**問** 地域公共交通計画の策定が進められ、5年度内とするが、急がれているのは、バス運行の改善、見直しです。住民が利用できるのはいつ頃ですか。

**答** アンケート調査、利用実態について、地域公共交通活性化協議会で知見をいただくこと、バス路線の見直しは、かかる費用などから持続可能な公共交通に経費を抑えながら利便性を高めていくなどで見直しをすすめます。

**問** 町公共交通の基本的なあり方は合併後の連携計画にある。計画の関連性を伺います。

**答** 先の計画は効率よくなど認識はしている。その後10年が経過し、利用者の減少など見直しが必要。活かすものは活かしながら見直したい。

### 加齢性難聴は認知症の要因

#### 動向を注視

**問** 認知症の予防の対策の一つとして補聴器購入に助

成措置を検討すべきです。

**答** 加齢性難聴の出現率は70歳以上で50%以上とされる。町内外の実情や国の動向を注視していきます。

らも働きかけを。

### 畜産・酪農の危機対応を

#### 国等の支援活用で

**問** 危機打開のために、①飼料高騰対策とともに子牛価格暴落に対応を、②牛乳の消費拡大対策を、③乳製品の輸入が牛乳余剰の要因、輸入を減らすよう国に町か

**答** 国等の支援活用を前提に対応に努める。②食育の立場から取り組む。③政府への対応は全国・全道の課題であり、町村会等々と足並みをそろえた対応が前提と捉えている。

### 普及を促進します マイナンバーカードは法的に任意

**問** 町がカード取得に助成した理由は。②カードは取得は任意であり、なくても健康保険証等の確保は可能です。

**答** 町内のカード取得率が全国平均を下回ること。景気の低迷があり経済循環の促進として行ってきた。②健康保険証から資格認証で対応とある。今後も国の動向を注視しつつカード普及促進に努めます。



待っててください

# 委員会報告

## 総務厚生常任委員会

足の確保で、  
豊かな暮らしの実現を

【調査期日】令和4年12月21日、令和5年2月22日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

### 地域公共交通計画の策定状況について

#### 説明内容

地域公共交通とは

地域にとって望ましい公共交通ネットワークの姿を明らかにし、「まちづくりの取り組みと連携・整合」を確保する地域公共交通のマスタープラン。

地域公共交通の重要性

○徒歩生活者の生活利便性の維持（買い物・通院など）  
○高齢者の外出機会の増進  
○適切な時期の免許返納の推進。

検討課題

A・バス路線のサービス向上と収支の改善

○JR 鶴川駅と乗り継ぎに配慮したバスダイヤの改善  
○デマンドバスの利便向上

・予約方法（前日↓当日）  
・ドアツードア。  
○バス路線の効率化。

・新千歳空港線の存廃。  
○運行事業主体の検討。

・町営バス委託業者の変更（道南バス↓町内タクシー事業者）。

B・新たな生活交通システムの可能性の検討（R5年度実証実験予定・穂別地区を対象に）

○住民によるサポート交通（交通空白地有償運送）。

【対象】

散逸的な集落、居住地を有する穂別地区内の移動。  
【内容】  
住民の運転による有償運送。

#### 主な質疑と回答

**問** 令和3年度穂別地区生活交通アンケートでの要望と課題は。

**答** 生活上の用事を足すには公共交通は不便がある。

送迎サービスの対象外の足の確保や当日予約の改善

新千歳便やJRからの町営バスへの接続が悪いなど多岐にわたっています。

**問** 鶴川地区のバイパスから南側団地に住む高齢者から、町営バスの停留所設置の要望がありますが検討は

**答** 要望が出ている地区に停留所の設置ができるかの調査はしていません。

**問** 新しい停留所の設置はどれくらいの期間が必要なのか。

**答** 市町村地区協議会を経て、陸運支局にダイヤ改正手続き変更申請するため、概ね半年から1年くらいかかると思われます。

#### 現状における課題及び意見等

・土日・夜間の救急搬送の対応に可能な運行システム

△の構築。

・買い物・医療などに焦点を絞った高齢者意見を尊重した交通対策の検討。

・乗り合いタクシーの検討。  
・穂別鶴川地区間バスの昼便の確保。

・JRとの接続に対して到着時刻が遅れた場合のバス運行事業者との連携。

・運行空白地域及び時間帯におけるタクシーチケット制度の検討。

・当日予約が可能な方法の検討。

・通学バスとの区分けと車両の小型化によるコンパクトな運行。

・待ち時間等における待合場所の確保。

・住民の協力体制によるサポート交通の検討。

〈調査結果のまとめ〉

現在策定中の地域公共交通計画の分析結果は3月以降であることから、調査は継続することとしました。

# 委員会報告

## 経済文教常任委員会

さらなる支援が  
望まれます

【調査日】令和5年2月27日

委員間での意見交換を行いました。

### 農業における資材高騰による 高騰と対策について

#### 調査の経過と結果

本件は、令和4年10月18日開催の経済文教常任委員会において、資材高騰に対する国・北海道・むかわ町からの支援策の説明を受けたが、抜本的な対策が不透明な状況の中、コストの削減及び省力化等による視点での対策が必要と考慮し、北海道が示す「みどりの食料システム戦略における北海道方針」、ホクレン営農情報誌での「省力化ガイドブック、コスト削減省力化のヒント」等を参照し、本町における課題及び可能な対策等について、意見交換を行いました。

#### 現状における 課題及び意見等

● 基本的には国の政策が必要であり、国の方針が見えない中での議論は難しい。

● 国、北海道、町が支援対策を講じているが、対策を講じないと離農が懸念される。特に、酪農関係は近隣町でも離農が発生しており、畜産関係は厳しい状況が続くと思われます。

● 畜産農家との連携のほか漁業における副産物の利用による堆肥化による有機質肥料化の検討は必要と思われる。

● 北海道が示す「みどりの

食料システム戦略における北海道方針」ホクレン営農情報誌での「省力化ガイドブック、コスト削減省力化のヒント」等は、参考にすること。

なお、SDGsの環境負荷の軽減といった長期的な視点と資材高騰といった緊急的な視点での対策の区分けは必要です。

● 肥料を少なくするための作物転換、ビニールハウスの再利用、経営形態の組織化又は共同経営など農業者と行政が連携した取組の検討が必要です。

● 今後予定する関係者との意見交換については、水田活用交付金制度の動向、地域農業活性化推進基金事業補助金等の活用など農業振興対策全般に渡る懸念があるが、基金的には資材高騰による影響と対策を中心とした議論展

開により実態把握に努めることとします。

#### 調査結果のまとめ

上記の結果を踏まえ、国、北海道、町からの支援に対する成果の検証後、関係者（農業関係機関又は農業者等）と意見交換による実態等の把握と対策の検討が必要とされたことから、調査は継続することとしました。



春の訪れ



# 令和4年度活動状況

令和4年4月23日～令和5年3月31日の1年間での議員の活動状況を報告します。

## ■各委員会出席状況

	定例会	臨時議会	全員協議会	議会運営委員会	総務委員会	常任委員会	経済文教委員会	議会広報委員会	決算審査特別委員会	予算審査特別委員会	議会報告会	出前議会	一部事務組合 (胆振東部消防組合)	一部事務組合 (日胆衛生組合)	一部事務組合 (平取町外2町衛生施設組合)
委員定数				6	7(6)	6	7						2	2	3
開催日数	9	5	7	11	5	5	11	4	3	1	1	1	5	4	4
栗原健一	9	5	7			5	11	4	3	1	1	1	4		
伊藤恵美	8	5	7		4		9	4	1	1	1	1		4	
古内みゆき	9	5	6	○9	○5		10	○4	○3	1	1	1			
奥野恵美子	9	5	7	11		5	◎11	4	3	1	1	1			
東千吉	9	5	7	11		◎5		4	3	1	1	1			4
佐藤守	9	5	7	◎11		5	○11	4	3	1	1	1	4		
中島勲	9	5	7		5			4	3	1	1	1			4
大松紀美子	9	5	7	11	◎5		11	◎4	◎3	1	1	1			
三上純一	9	5	7	10		○5		(注3)	2	1	1	1			
小坂利政	9	4	5		5			4	3	1	1	1			
北村修	7	5	7			5		4	3	1	1	1			4
津川篤	8	4	7	(6)注5	4		8	4	2		1	1		4	
野田省一	9	5	7	(11)	(5)	(5)	(2)	(4)	3	1	1	1			

注1 ◎は委員長、○は副委員長になります。

注2 ( ) は、委員会に所属していない議員の出席回数を示しています。

注3 決算審査特別委員会は、監査委員のため三上議員は除外しています。

注4 議長は、すべての委員会に出席することが認められています。

注5 議会運営委員会の決定で副議長は、出席することが認められています。

# 出前議会を開催

令和5年2月15日産業会館で出前議会を開催しました。

申込者はNPO法人マージュ（代表岡松諒）で議会側は正副議長のほか各常任委員会委員長など9人が対応しました。

テーマは「議会活動及びまちの活性化について」です。

それぞれの分野での質問があり、意見交換をしました。

主な質問内容について掲載します。

## 医療

● 町内常勤の専門医師がないため、急を要する場合近隣市町への移動補助体制は。

※保護者・介助者が車を保有していない場合、タクシー、バスなどの助成は。

## 福祉

● 高齢世帯が増加する中で安心して暮らせるまちづくりは

※買物弱者・安否確認・選挙時の投票補助・高齢者福祉施設の拡充など。

## 教育

● 人の成長は多面的であり、効果測定が難しい分野ではあるが、限られた予算の中で実施又は予定している取組の検証はどのように

● 中・高一貫教育の方針と成果は。

## 産業

● 町内の公園になぜ駐車場がないのか。

● 小中学校の通学バスに一般市民の利用は。

## まちづくり

まちなか再生基本計画・博物館周辺エリア再整備計画について議員個々の考え方を伺いたい。

以上の質問について意見交換をしました。

今後、内容を整理し所管事務調査などで引き続き課題を掘り下げていく予定です。

※ぜひ、出前議会を  
ご利用ください。

## 全国町村議会議長会

### 自治功労者

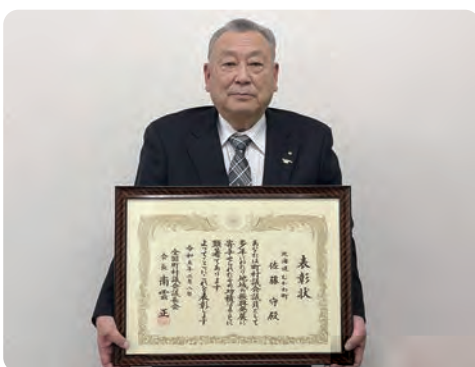
### 表彰授与

町村議会議員として、多年にわたり地域の振興発展に寄与せられたとされ、令和5年2月8日に、全国町村議会議長会から、表彰状が授与されました。

第1回定例会に先立ち、野田議長より伝達されました。

### ◆議員在職15年以上

佐藤 守 議員



## 議会事務局からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 表紙の写真



4月7日 鶴川中央小学校入学式にて